

甘い言葉にだまされないで

YES TO LIFE NO TO DRUGS



薬物乱用はあなたの一生を
だいなしにします。

岩手県
岩手県薬剤師会

NO DRUGS!

薬物乱用ってなに？

薬物乱用とは、社会のルールからはずれた方法や目的で薬物を使うことです。

覚せい剤やシンナーなどの違法薬物は、たとえ一回の使用でも乱用になり、同時に犯罪になります。

また医薬品は病気や傷の治療に使いますが、

こうした目的以外に使えば乱用です。

一度だけでも
薬物乱用になり犯罪です。

薬物乱用は法律で
厳しく取り締まられています。



向精神薬

麻薬及び向精神薬取締法
懲役3年

持っているだけでも
罰せられます

ヘロイン

麻薬及び向精神薬取締法
懲役10年

コカイン・MDMA

麻薬及び
向精神薬取締法
懲役7年

懲役刑など厳しい
罰則があります。

あへん

あへん取締法
懲役7年

※規制法律と最高刑
(非営利目的の所持・譲渡)

覚せい剤

覚せい剤取締法
懲役10年

シンナー等有機溶剤

毒物及び劇物取締法
懲役2年

大麻

大麻取締法
懲役5年

薬物乱用による恐ろしい現実

一度だけなら大丈夫と思っていても自分の意志だけではやめられなくなる依存の悪循環に陥ってしまいます。



恐ろしい再燃現象 フラッシュバック

いったん病的な状態になる、脳には薬物の記憶が残っていて、単に、ストレスを感じたり、飲酒したりした場合にも薬物を乱用したと同じような、幻覚や妄想が突然現れる場合があります。これをフラッシュバック(自然再燃)といい、恐れられています。

また、ごく少量の薬物を使用した場合でもいきなり幻覚や妄想が現れる場合があります。

これらの経過を表したものが下の図です。

覚せい剤やシンナーの乱用による薬物精神病の発現と再燃の模式図



覚せい剤

中枢神経が興奮し、気分が高揚して、疲労がとれたように感じますが、薬が切れるとその反動で、強い疲労感と倦怠感、脱力感が襲ってきます。繰り返し使用していると、中枢神経に異常をきたし、幻覚や妄想が起こり、精神病状態になります。大量に投薬すると死んでしまう場合があります。



コカイン

興奮作用があり、効果が迅速で強烈です。毒性も強く、大量投薬すると痙攣発作が繰り返し起こり、死んでしまうこともあります。精神病状態になります。



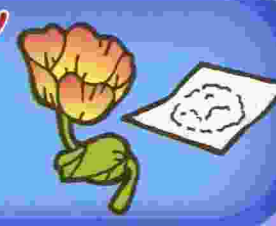
大麻(マリファナ)

感覚が異常になり、幻覚や妄想が現れます。精神病状態になります。



あへん・ヘロイン

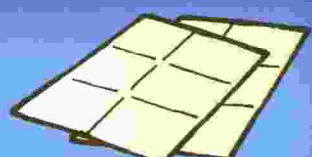
落ちついたような気分を味わいますが、薬が切れると嘔吐や発汗などの激しい禁断症状に襲われます。多量に摂取すると、呼吸困難に陥り、死んでしまうこともあります。



乱用される薬物はいずれも依存性があります。

LSD

幻覚が現れます。色彩感覚が麻痺し、空間が歪んだような感覚に襲われます。精神病状態になります。



MDMA

覚せい剤と似た中枢神経刺激作用とLSDのような幻覚作用があります。



シンナー等有機溶剤

急速に酩酊状態となり、大量に摂取すると、呼吸困難に陥り死に至ります。情緒不安定、無力、精神病状態になります。



マジックマッシュルーム

サイロシン、サイロシピンなどの幻覚を引き起こす麻薬が成分として含まれており、麻薬原料植物として規制されています。



薬物は別の呼び名(隠語)で呼ばれている場合があります

覚せい剤…スピード、エス、シャブ コカイン…コーク、クラック LSD…アシッド シンナー等有機溶剤…アンパン、ジュントロ 大麻…チョコ、ハッパ、ハッパシユ MDMA…エクスタシー

NO!といえるようになるためには…

薬物乱用のない、健康で安全な社会をつくるために、私たちは何をしなければならないでしょう。また、気分がよくなる・やせられるといった誘いや、「仲間だろう」「怖いのか、1回くらいなら大丈夫だよ」といった仲間からのプレッシャーにどう対処すればいいのでしょうか。

どんなときでも絶対NO!といえるようになるためにはどうすればよいかをみんなで考えてみよう。

●ロールプレイング

薬物をすすめられた場面を演じて、断る方法について考えてみよう。



●ケーススタディ

乱用に陥った事例をもとに、どのように行動すればよいかを考えてみよう。



●家族で話し合おう

学校だけではなく、家庭でも薬物について話あってみよう。



薬物乱用 Q&A

一度だけなら大丈夫って聞きましたけど、本当ですか？

A 絶対にそんなことはありません。

一度でも乱用すると、依存症になってしまう危険があります。一度だけなら大丈夫という軽い気持ちから後戻りできなくなるケースがほとんどです。一度でも死んでしまうことがあります。また、法律で禁止されていて、一度だけでも罰せられます。

ダイエットや勉強に良いって本当ですか？

A 答えはNO!です。

覚せい剤は中枢神経に作用して、一時的に身体をだまして食欲をなくすだけです。覚せい剤を乱用すると、中毒や依存症になり、心身に悪い影響を与えます。もちろん疲れがとれたり、勉強に良いなどということは、絶対にありません。

一度依存症になるともう治らないのですか？

A 一生、薬物の誘惑と闘い続けなければなりません。

依存症が治ったと判断することは、非常に難しいといわれています。薬物による依存は非常に強く、誘惑と一生闘い続けなければなりません。

薬物は生まれてくる子どもにも影響しますか？

A 胎盤を通して大きく影響します。

女性が妊娠中に乱用すると、死産や早産、低体重児やすでに依存症になった赤ちゃんなどが生まれることがあり、次世代にも大きく影響します。男性も大麻を乱用すると精子に影響することが報告されています。

薬物をすすめられたらどう対処すればいいですか？

A きっぱり「いやだ」と言きましょう。

「友達に嫌われるから」と思っても、はっきり「NO!」と言うべきです。友達からどう思われても、自分の身体、自分の一生を大切にしましょう。危険な場所・場面に近づかない、危険を感じたら立ち去ることが大切です。少しでも危ないと思ったら、「きっぱり断る」「逃げる」勇気を持ちましょう。

薬物の問題で助けが欲しいときは？

A 担任や保健室の先生、保護者、警察や保健所などに相談しましょう。

薬物を乱用している友達のことや、薬物をすすめられたりした場合は、一人で悩まず、きちんと助けを求めることが大事です。

ヤングテレホン・少年サポートセンター

TEL 019-651-7867 (警察本部少年課内)
TEL 0197-65-2400 (北上警察署内)

メール相談・ほほえみセンター

ip-support@iwate-kenkei.morioka.iwate.jp



(提供 財団法人麻薬覚せい剤乱用防止センター)

薬物乱用の社会的影響…

薬物乱用の弊害は個人やその周囲だけにとどまりません。

凶悪犯罪の増加はもちろん、麻薬の密売に関連して生鮮食料品が税関でストップされるといった国際間での経済問題や、乱用薬物が国際テロ集団や日本の暴力団の資金源になるといった社会問題を起こします。

注射器の不正使用によるエイズやその他の感染性の病気の拡大、母親の薬物乱用による胎児への悪影響、乳児死亡率の上昇、フラッシュバック現象による精神障害など様々な形で社会に弊害をもたらします。

ダメ。ゼッタイ。

薬物乱用防止の第一歩は、薬物の怖さ、影響など正しい知識をもち、“ダメ。ゼッタイ。(自分は薬物に絶対手を出さない)”というしっかりした心をもって、行動することです。

世界はいま、YES TO LIFE, NO TO DRUGS

薬物乱用問題は全世界的な広がりを見せ、人間の生命はもとより、社会や国の安全や安定を脅かすなど、人類が抱える最も深刻な社会問題の一つとなっています。このため、国連は平成31年(2019年)までに薬物乱用を根絶することを目指すこととしました。国民一人一人の薬物乱用問題に対する認識を高め、正しい知識を身に付けて薬物乱用の無い社会環境を作りましょう。

“YES TO LIFE NO TO DRUGS”は、21世紀をになう地球人としての自覚です。

発行

岩手県・岩手県薬剤師会

制作

岩手県薬剤師会 くすりの情報センター
盛岡市内丸17-24 TEL (019) 653-4591